

令和7年度近畿地区 内航船社官学労使懇談会

12月4日、ニューオーサカホテルで、近畿地区内航船社官学労使懇談会が開催され、会社側は19社2団体の38人、学校関係者が6校7人、運輸局関係者4人、組合からは12人の計61人が出席した。

はじめに平岡英彦中央執行委員が「本日の議題の大きなテーマである船員の確保育成は、全ての産業において重要なテーマである。本日の懇談会を通じて内航海運に若い人材を呼びこむことにつなげられるよう、お願いする」とあいさつし、続いて宮崎昇一郎一洋会会長と岡村知則国土交通省神戸運輸監理部海事振興部長があいさつした。

次に船員教育機関から、教育現場における諸課題や進路状況の説明があり、国土交通省近畿運輸局からは若年内航船員確保の取り組みについて報告が行われ、学校側からは▽学生の卒業後の動静について把握が難しいこと▽女子生徒の船員希望者が増加傾向にあること▽インターンシップについて一などの報告が行われた。

また意見交換では▽学生の就職活動時期の変化について▽水産高校の入学希望者増加に向けた対応について▽インターンシップの助成事業について▽ハローワークにおける募集状況一などの質問および意見が出された。

最後に浦隆幸関西地方支部長が閉会のあいさつをして、官学労使懇談会を終了した。
「海員だより」